

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号: 0120-1102, サービス名称: e-staffingシステム, 事業者名称: 株式会社イー・スタッフィング

| 【審査対象項目】 | | 【記述内容】 | | 必須/選択 | 申請内容 |
|----------|-------------|------------------|--|--|---|
| 1 | 開示情報の時点 | 開示情報の日付 | 開示情報の年月日(西暦) | 必須 | 2021年12月31日 |
| - 事業所・事業 | | | | | |
| 2 | 事業所等の概要 | 事業者名 | 事業者の正式名称(商号) | 必須 | 株式会社イー・スタッフィング |
| 3 | | 設立年・事業年数 | 事業者の設立年(西暦) | 必須 | 2002年(事業開始) |
| | | | 設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数) | | 19年 |
| 4 | | 事業所 | 事業者の本店住所・郵便番号 | 必須 | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-11 |
| | 事業所数(国内、国外) | | 国内:1 国外:0 | | |
| | 主な事業所の所在地 | | 東京都千代田区 | | |
| 5 | 事業の概要 | 主な事業の概要 | 事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述> | 必須 | <ul style="list-style-type: none"> ●人材派遣管理システムの開発・運用 ●人材派遣管理システムのインターネットによるサービス提供 |
| - 人材 | | | | | |
| 6 | 経営者 | 代表者 | 代表者氏名 | 必須 | 代表取締役社長 山口 和良 |
| | | | 代表者写真 | 選択 | - |
| | | | 代表者年齢 | | 62歳 |
| | | | 代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等) | | 1983年 早稲田大学卒業 ジャスコ株式会社入社(現イオン株式会社) 1997年 日本トイザらス株式会社入社 2003年 株式会社イー・スタッフィング 代表取締役社長就任 |
| 7 | 役員 | 役員数 | 選択 | 7名 | |
| | | 役員氏名及び役職名 | | 代表取締役社長 山口 和良 取締役 藤枝 朋子 取締役 山本 慎也 取締役 木村 和成 監査役 木下 拓也 監査役 石黒 智幸 監査役 原田 充 | |
| 8 | 従業員 | 従業員数 | 正社員数(単独ベース) | 選択 | 15名(2021年12月31日) |
| - 財務状況 | | | | | |
| 9 | 財務データ | 売上高 | 事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円) | 必須 | 2,556,297,347円(2021年3月期) |
| 10 | | 経常利益 | 事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円) | 選択 | 128,617,801円(2021年3月期) |
| 11 | | 資本金 | 事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円) | 必須 | ¥330,006,000 |
| 12 | | 自己資本比率 | 事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%) | 選択 | 57.0%(2021年3月期) |
| 13 | | キャッシュフロー対有利子負債比率 | 事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%) | 選択 | 87.7%(2021年3月期) |

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0120-1102, サービス名称: e-staffingシステム, 事業者名称: 株式会社イー・スタッフィング

| 【審査対象項目】 | | 【記述内容】 | 必須/選択 | 申請内容 |
|-------------|-------|---|-------|--|
| 14 | | インタレスト・カバレッジ・レシオ 事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%) | 選択 | 5.547.6%(2021年3月期) |
| 15 | | 上場の有無 株式上場の有無と、上場の場合は市場名 | 選択 | 無し: |
| 16 | 財務信頼性 | 財務監査・財務データの状況 該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない | 選択 | ④株主による会計チェックを実施 |
| 17 | | 決算公告 決算公告の実施の有無 | 選択 | 有り: 官報に掲載 |
| - 資本関係・取引関係 | | | | |
| 18 | 資本関係 | 株主構成 大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率 | 選択 | パーソルホールディングス株式会社(33.3%) 株式会社パソナグループ(33.3%) 株式会社リクルートスタッフィング(33.3%) |
| 19 | 取引関係 | 大口取引先 大口取引先の名称 | 選択 | クオリカ株式会社、株式会社インテック、SCSK株式会社、ビーウィズ株式会社 |
| 20 | | 主要取引金融機関 主要取引金融機関の名称 | 選択 | 三菱UFJ銀行 |
| 21 | | 所属団体 所属している業界団体、経済団体等の名称 | 選択 | 無し: |
| - コンプライアンス | | | | |
| 22 | 組織体制 | コンプライアンス担当役員 コンプライアンス担当の役員氏名 | 選択 | 代表取締役社長 山口 和良 |
| 23 | | 専担の部署・会議体 コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名 | 選択 | コンプライアンス担当部署: 管理部 会議体の有無: 有(管理部 MS運営委員会) |
| 24 | 書類 | 情報セキュリティに関する規程等の整備 情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等書類の名称 | 必須○ | 情報セキュリティ基本方針 |
| | | 上記の書類の経営陣による承認の有無 | | 有り: |
| 25 | | 勧誘・販売に関する規程等の整備 勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名 | 選択 | 無し: |
| | | 上記の書類の経営陣による承認の有無 | | - |
| 26 | | ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備 ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名 | 必須 | 有り: インシデント管理規定 |
| | | 上記の書類の経営陣による承認の有無 | | 有り: |
| - サービス基本特性 | | | | |
| 27 | | サービス名称 申請したASP・SaaSのサービス名称 | 必須 | e-staffingシステム |
| 28 | | サービス開始時期 申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦) | 必須 | 2002年12月1日 |
| | | サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦) | | 2002年10月1日 事業開始 |

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0120-1102, サービス名称: e-staffingシステム, 事業者名称: 株式会社イー・スタッフィング

| 【審査対象項目】 | | 【記述内容】 | 必須/選択 | 申請内容 |
|----------|----------------|------------------------|-------|--|
| 29 | サービス内容 | サービスの基本タイプ | 必須 | アプリケーションサービス |
| 30 | | サービスの内容・範囲 | 必須 | 社会的ニーズがますます高まる人材派遣。e-staffing システムは複数の派遣会社とのやり取りを一元化し、派遣管理業務を効率化。法定帳票の適正な電子管理を実現し、派遣先企業様の派遣コンプライアンスリスクを軽減します。 無し: |
| 31 | | サービスのカスタマイズ範囲 | 必須 | 個別カスタマイズ無し。 多くの顧客にメリットが享受される要望は継続的に改修・改善を実施。 |
| 32 | サービスの 変更・終了 | サービス(事業)変更・終了時の事前告知 | 必須○ | サービスの変更: 1か月前 サービスの終了: 3か月前 サービスの変更: 規定なし(実際はログイン画面に掲示) サービスの終了: 書面で通知 |
| 33 | | サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置 | 必須 | 無し: 同等のサービスを提供している他システムを紹介するなど、可能な限りの対応を行う。 法令により保存が求められる情報を除き全て廃棄又は削除する。 |
| 34 | | サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先 | 必須○ | 有り: 名称: e-staffingサポートセンター 受付時間: 9:00~19:00 (土日祝日年末年始を除く) |
| 35 | サービス料金 | 課金方法 | 必須 | 「毎月1日~15日、16日~末日の其々に存在するe-staffing契約No.数」もしくは「当該派遣照会から契約確定されたデータ件数(e-staffing契約No数)」に応じた従量課金。 無し: |
| 36 | | 料金体系 | 必須 | 初期費用額 無し: 月額利用額 「毎月1日~15日、16日~末日の其々に存在するe-staffing契約No.数」もしくは「当該派遣照会から契約確定されたデータ件数(e-staffing契約No数)」に応じた従量課金。 3か月: ただし、当社によりサービスの内容を変更(但し軽微な変更又は利用者の負担を加重しない変更の場合を除く)した場合、利用者は当該変更についての通知日から1ヶ月以内にその旨を当社に届け出るにより、本サービスの利用解除が可能。 |
| 37 | | 解約時ペナルティ | 必須 | 無し: 解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額 |
| 38 | | 利用者からの解約事前受付期限 | 必須 | 有り: 3か月以上前。 ただし、当社が本サービスの内容を変更(但し軽微な変更又は利用者の負担を加重しない変更の場合を除く)した場合、利用者は当該変更についての通知日から1ヶ月以内にその旨を当社に届け出るにより、本サービスの利用契約解除が可能。 |

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0120-1102, サービス名称: e-staffingシステム, 事業者名称: 株式会社イー・スタッフィング

| 【審査対象項目】 | | 【記述内容】 | 必須/選択 | 申請内容 |
|----------|----------------------|---|-------|--|
| 39 | サービス稼働設定値 | サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値 | 必須 | 100%(2020/12/1~2021/11/30) |
| | | 申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値 | | パターン2(機密性:高 完全性:高 可用性:中) 対策参照値: 99%以上 |
| | | サービス停止の事故歴 | | 過去1年に0件(2020/12/1~2021/11/30) |
| 40 | サービスパフォーマンスの管理 | 機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法) | 選択 | ID内に監視サーバを設け、各サーバ、ネットワーク機器、アプリケーションの動作状況等を要件に基づき(5分間隔等)で監視している。問題が発生した場合は、オペレータ通知を行い対応する。 |
| | | サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法) | | 監視項目のそれぞれに閾値を設け、定期的に監視、分析することで、サービスパフォーマンス傾向を把握し、未然に防止する策を講じている。 |
| 41 | サービスパフォーマンスの増強 | ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要 | 選択 | 負荷分散対策を講じて問題発生を回避している。またSLA遵守のため、各監視項目のそれぞれに閾値を判断基準とし、閾値に達した場合は速やかに増強を実施している。 |
| 42 | サービス品質 認証取得・監査実施 | プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称 | 選択 | 有り: ISO/IEC 27001 ISO/IEC 20000 ISO22301:2012 HDIサポートセンター認定 プライバシーマーク第10823293(06) |
| 43 | 個人情報の取扱い | 個人情報を収集する際の利用目的の明示 | 必須 | 有り: 当社ホームページ上に「個人情報保護方針」を掲載。 https://www.e-staffing.co.jp/dl/protect.pdf |
| 44 | 脆弱性診断 | 診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等) | 選択 | アプリケーション、OS、Mailサーバに対して実施 |
| | | 診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに) | | 頻度:1回/年 診断結果の全てに対して対策を実施 |
| 45 | バックアップ対策 | バックアップ実施インターバル | 必須 | 毎日(最大1時間のデータ消失を防止する対策有) |
| | | 世代バックアップ(何世代前までかを記述) | 必須 | 2世代 |
| 46 | バックアップ管理 | バックアップ確認のインターバル | 選択 | 5分単位でデータ同期の正常性を監視。 1回/年で、障害を想定したバックアップからの復旧テストを実機にて実施。 |
| 47 | 受賞・表彰歴 | ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴 | 選択 | 無し: |
| 48 | SLA(サービスレベル・アグリーメント) | 本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か | 必須 | 添付される |
| 49 | サービス利用量 | 利用者数 申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数 (同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示) | 選択 | 導入企業:4,546社 参加派遣会社:11,169社 管理契約308,787件 (2021年12月31日現在) |
| 50 | 代理店数 | 申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数 | 選択 | 無し: |

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号: 0120-1102, サービス名称: e-staffingシステム, 事業者名称: 株式会社イー・スタッフィング

| 【審査対象項目】 | | 【記述内容】 | | 必須/選択 | 申請内容 |
|--------------------------------|--------|-------------------|---|-------|---|
| - アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等 | | | | | |
| 51 | 内容 | サービスを実現する主要ソフトウェア | 主要ソフトウェアの名称 | 必須 | e-staffing |
| | | | 主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述> | 必須 | 労働者派遣にともない発生する、「見積・派遣照会」、「勤怠管理」、「契約管理」、「請求管理」等、派遣先と派遣元間の業務を標準化してサポートするシステム |
| 52 | | 主要ソフトウェアの提供事業者 | 提供事業者の名称 | 必須 | 株式会社イー・スタッフィング |
| 53 | 連携・拡張性 | 他システム等との連携方法 | 標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称 | 選択 | 無し: |
| | | | 標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否 | | 可:テキストファイルの授受による連携 |
| 54 | セキュリティ | 死活監視(ソフトウェア、機器) | 死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル | 必須○ | 全てのサーバのリソース監視を5分間隔、ネットワーク死活監視を15分間隔で死活監視を実施。アプリケーションは、システム提供開始時刻前にログイン可否を監視。 |
| | | | 障害時の利用者への通知時間 | | ・e-staffingログイン画面への告知 ・電子メールで連絡窓口への告知 全てのユーザの連絡先情報は持っていないため、連絡窓口の担当者へのみ通知 |
| 55 | | 障害監視(ソフトウェア、機器) | 障害監視の有無 | 必須 | 有り: ソフトウェアのサービス、プロセス死活監視、ハードウェアのアラート監視を実施 |
| 56 | | 時刻同期 | システムの時刻同期方法 | 必須 | NTPサーバによる時刻同期を実施 |
| 57 | | ウイルスチェック | メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間) | 必須○ | ・ウイルスチェック:有り ・パターンファイル更新間隔:24時間以内 |
| 58 | | 記録(ログ等) | 利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間 | 必須○ | ログ取得:利用状況、例外処理、セキュリティ監視関連全て有り。取得したログはスタンバイ構成の取られたログサーバに集約し、3年保管。 |
| 59 | | セキュリティパッチ管理 | パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間) | 必須○ | パッチリリース後、当社システムでの要否を即日判断し、テスト環境にて検証した上で本番環境へ適用。 |
| - ネットワーク | | | | | |
| 60 | | 推奨回線 | 専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類 | 必須 | インターネット回線 |
| | | | ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲 | 必須 | iDC内の回線が責任範囲 ※iDCと利用者との間のユーザ接続回線は責任を負わない |
| 61 | | 推奨帯域 | 推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲 | 必須 | 無し: |

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号: 0120-1102, サービス名称: e-staffingシステム, 事業者名称: 株式会社イー・スタッフィング

| 【審査対象項目】 | | 【記述内容】 | 必須/選択 | 申請内容 |
|------------------|--------------|----------------------|--|--|
| 62 | 回線 | パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等 | 必須 | 端末:動作確認済みブラウザが動作するパソコン OS :動作確認済みブラウザが動作するOS |
| | 推奨端末 | 利用するブラウザの種類 | 必須 | 動作確認済みブラウザ Microsoft Internet Explorer 11 ※1 Microsoft Edge Google Chrome Mozilla Firefox Safari ※1 互換表示設定、もしくはエンタープライズモードは動作確認して おりません。 [注意]Google Chrome 及び Mozilla Firefox は、更新頻度が高い ため、必ずしも最新バージョンの確認であるとは限りません。 [注意]動作確認済みブラウザはサポート終了や新バージョンの リリース、その他、株式会社イー・スタッフィングの判断により、 随時検証のうえ更新致します。 |
| 63 | セキュリティ | ファイアウォール設置等 | 必須○ | 有り: |
| 64 | | 不正侵入検知 | 必須 | 有り: |
| 65 | | ネットワーク監視 | 選択 | IDCとエンドユーザとの間は責任範囲外であるため対象外。 |
| 66 | | ID・パスワードの運用管理 | 必須○ | 有り: |
| 67 | | ユーザ認証 | 必須○ | 企業ID、ユーザID、パスワードにて認証。 契約企業様のみアクセスを許可するため、グローバルIPアドレス によるアクセス制御の仕組みを有する。 |
| 68 | | 管理者認証 | 必須○ | 有り: |
| 69 | | なりすまし対策(事業者サイド) | 必須 | 有り: 認証局が発行するSSLサーバ証明書を取得・使用 |
| 70 | その他セキュリティ対策 | 選択 | ・改竄検知システム導入 ・ネットワークアクセス時データの暗号化 ・データベースの暗号化 ・24時間365日有人監視 | |
| - ハウジング(サーバ設置場所) | | | | |
| 71 | 施設建築物 | 建物形態 | 必須 | データセンター専用 |
| 72 | | 所在地 | 必須 | 関東 |
| 73 | | 耐震・免震構造 | 耐震数値 | 必須 |
| | 免震構造や制震構造の有無 | | 無し: | |
| 74 | 非常用電源設備 | 無停電電源 | 必須 | 有り: 供給時間: 約10分 |
| 75 | | 給電ルート | 必須 | 同一変電所より、2回線受電 |
| 76 | | 非常用電源 | 必須 | 有り: 連続稼働時間: 15~16時間 ※燃料補給により上記時間以上の連続運転が可能 |

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0120-1102, サービス名称: e-staffingシステム, 事業者名称: 株式会社イー・スタッフィング

| 【審査対象項目】 | | 【記述内容】 | 必須/選択 | 申請内容 |
|------------|--------------|---|-------|--|
| 77 | 消火設備 | サーバールーム内消火設備 | 必須 | 有り: ハロン消火設備 |
| 78 | | 火災感知・報知システム | 必須 | 有り: 煙感知式システム |
| 79 | 避雷対策設備 | 直撃雷対策 | 必須 | 有り: 避雷針 |
| 80 | | 誘導雷対策 | 必須 | 有り: 避雷器(アレスター) 定格電圧8.4kvまで対応可能 |
| 81 | 空調設備 | 十分な空調設備 | 選択 | 床吹き上げ空調 |
| 82 | セキュリティ | 入退室記録の有無と、 入退室記録がある場合はその保存期間 | 必須 | 有り: 保存期間:1年間 |
| | | 監視カメラの有無と、 カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間 | | 有り: 出入口(館・室)に設置(365日24時間) ※映像は1年間保管 |
| | | 個人認証システムの有無 | | 有り: 非接触IDカードを利用 ※一部は生体認証を利用 |
| 83 | 媒体の保管 | 紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無 | 必須 | 無し |
| | | 保管管理手順書の有無 | | 有り: 保管管理に関する規定 |
| 84 | その他セキュリティ対策 | その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等) | 選択 | ・破壊侵入防止対策 ・警備員の24h配置 ・持ち込み品規制、等 |
| - サービスサポート | | | | |
| 85 | 連絡先 | 申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先 | 必須○ | 名称: e-staffingサポートセンター E-mail: support@e-staffing.co.jp TEL: 0120-288-187 |
| | | 代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先 | | 無し: |
| 86 | 営業日・時間 | 営業曜日、営業時間(受付時間) | 必須 | 土、日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日)を除く、平日9:00~19:00 |
| | | メンテナンス実施時間 | | 営業時間外に実施 |
| 87 | サービス窓口(苦情受付) | サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%) | 選択 | 100% |
| | | 放棄率の実績値(単位:%) | | 11.6%(2020年1月~2021年11月の平均) |
| | | 応答時間遵守率の実績値(単位:%) | | 無し: |
| | | 基準時間完了率の実績値(単位:%) | | 無し: |
| 88 | サポート範囲・手段 | サポート範囲 | 必須 | a) 操作マニュアル記載された仕様通りに動作しない場合の問い合わせ b) 操作マニュアルに記載された正常操作をおこなった際に発生したシステム障害に関する問い合わせ |
| | | サポート手段(電話、電子メールの返信等) | | 電話、電子メール |

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号: 0120-1102, サービス名称: e-staffingシステム, 事業者名称: 株式会社イー・スタッフィング

| 【審査対象項目】 | | 【記述内容】 | 必須/選択 | 申請内容 |
|----------|-------------|--|-------|---|
| 89 | サービス保証・継続 | サービスダウンしない仕組み | 必須 | 利用者アクセス関連サーバの冗長化・負荷分散 大規模自然災害発生時に第2センターへ切替 |
| 90 | | 事故発生時の責任と補償範囲 | 必須 | 有り: 利用規約 |
| 91 | サービス通知・報告 | メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知 | 必須○ | 1週間前: 平日、土曜日のサービス提供時間内でのメンテナンス等の一時停止は行わない。サービス停止が必要な場合は、事前告知した上で月に一度、非繁忙日の日曜日にメンテナンスを行う。 |
| | | 告知方法 | | e-staffingログイン画面へリリースノートに掲載する。 |
| | | 記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無 | | 有り: セキュリティ事故等の重大なインシデントが発生した場合は緊急停止、メンテナンスを実施する可能性有り。その場合、各企業の連絡担当者へメール通知を行う。 |
| 92 | 障害・災害発生時の通知 | 障害発生時通知の有無 | 必須○ | 有り: ログイン画面に掲示 |
| 93 | 定期報告 | 利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等) | 必須 | 有り: SLAの実施結果を記載したサービス報告書を毎月一度、e-staffingログイン画面へ掲載 |

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。